

子どもの権利条約フォーラム 2004 いはらぎの取手



はらぎの取手

今年初の
矢野が
実行委員
として本
年参加し
た。各
国代表
として
参加し
た。

今年初の
矢野が
実行委員
として本
年参加し
た。各
国代表
として
参加し
た。



2004年 出展の
利用者(大人も子供も)が
参加した。

実行委員の
素晴らしい
取り組みが
見られました。

実行委員の
素晴らしい
取り組みが
見られました。

今年初の
矢野が
実行委員
として本
年参加し
た。各
国代表
として
参加し
た。

2004 11 21
いはらぎの取手

第 12 回子どもの権利条約フォーラム2004いばらき in 取手

タイトル 世界の中心で子どもの権利条約をさげぶ

～いつも考えないコト いま考えていいカモ～

2004年 11 月 20 日(土)21 日(日)取手市立福祉会館にて開催されました。

子どもの権利条約フォーラムは、1989年11月20日に国連で「子どもの権利条約」が採択されたのを機に、子どもの権利条約ネットワーク(代表:喜多明人早稲田大学教授)の呼びかけを受けて、子どもの権利条約の普及を第一の目的とし、1993年から条約採択記念日(11月20日)前後に毎年1回、全国各地で開催されてきました。

条約が批准してから10年目を迎えた2004年、第12回目の「子どもの権利条約フォーラム」は茨城県取手市で開催されました。(取手市共催)

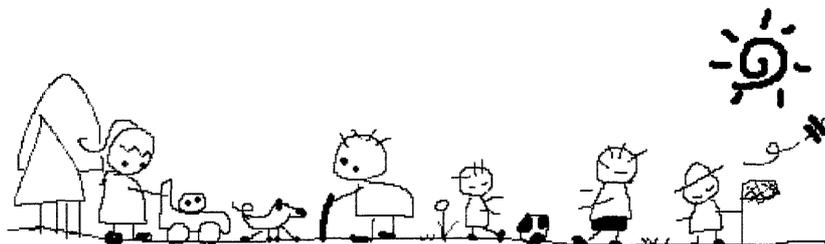
同年の5月に茨城県内の子ども育成団体が実行委員会を設立し活動してきました。

また子ども実行委員会と共に企画を進め、子どもたちの提案からタイトルは「世界の中心で子どもの権利条約をさげぶ」に決定。全体会(全員集合)、分科会(分れていいとも)の企画や、手書きのチラシも子どもたちのたくさんの話し合いと、時間をかけてできあがりました。

フォーラムの目的・ねがい

子どもの権利条約フォーラムは、1993年から次のような目的や願いのもとで、毎年11月20日の条約採択記念日前後に開催地域 NPO・NGO・市民団体が実行委員会を組織し、1000人を超える参加者を得て全国各地で年1回、次のような目的願いのもと、小中学生や高校生世代が企画・運営をおとなとパートナーを組み、子どもの参画で行われています。

- 子どもの問題に取り組むさまざまな人々が、その取り組みの様子(日本での、海外での様子)を報告しあい、意見を交換しあいます。
- 子どもと子どもの交流、そして、子どもとおとなの意見交換をたいせつにします。
- 子どもの権利条約をほんとうにいかしていくために、国や地方の行政にたずさわる人々との対話の機会にもしていきます。
- 子どもの権利条約が、子どもの権利条約にもとづいて、日本でも世界でも、どのように大切にされているのかを確かめあいます。
- 以上をとおして、みんなで子どもの権利条約をひろめます。



みんな皆ちがっていい、ひとりひとりを大切に

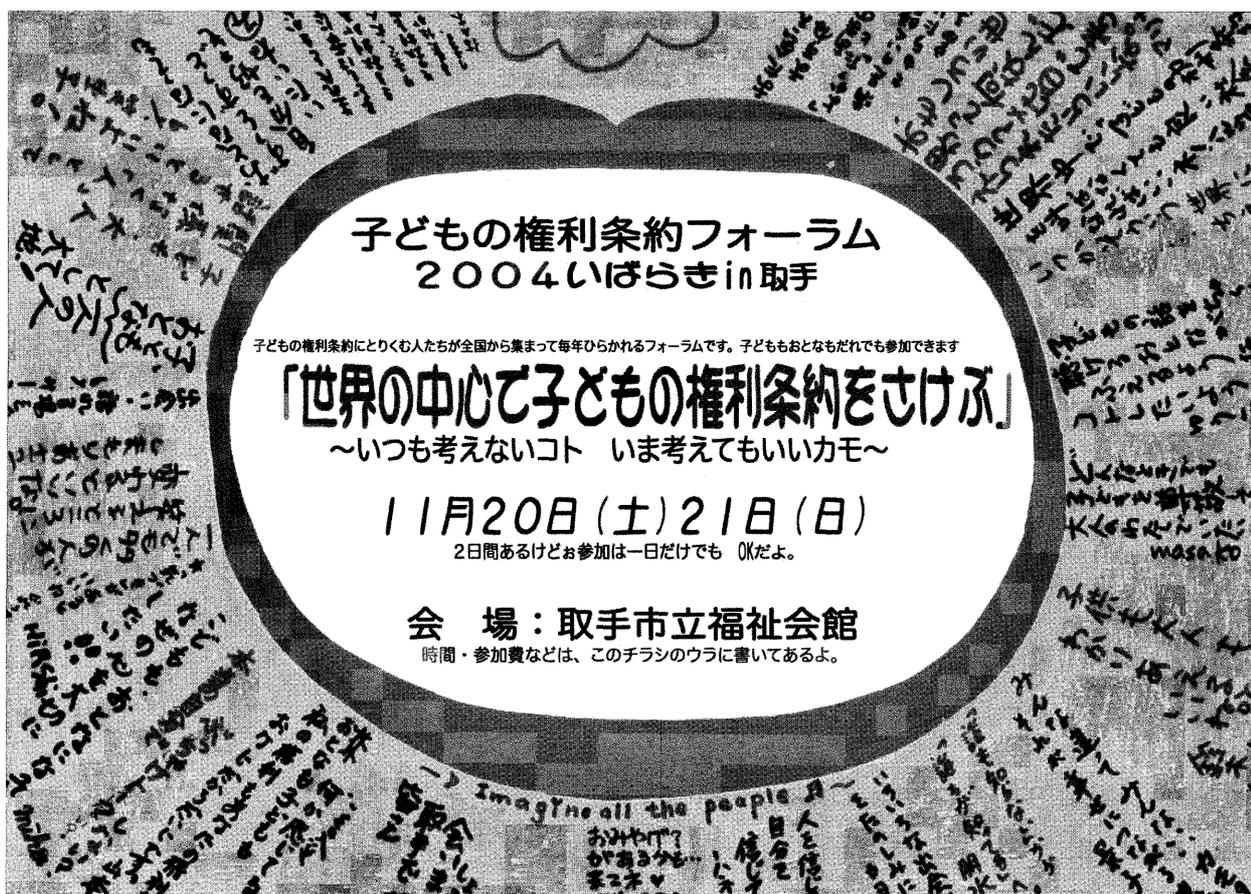
目次

●気づきのルール	1
●フォーラムの目的と願い	2
●目次	3
●ポスターができるまで	4
●フォーラムプログラム	5
●フォーラム1日目 PART1 子ども全員集合	6
●フォーラム1日目 おとな全員集合	16
●フォーラム1日目 PART2 おもしろいよ全員集合	17
●フォーラム1日目 PART3 おなかぺこぺこだよね交流会	19
●フォーラムのあいま	20
●フォーラム2日目 PART1 分かれていいとも!	21
●フォーラム2日目 PART2 3時だよ!おもしろかったカナへ全員集合	24
●言いたくても言えないコト フォーラムに参加した子どもたちの声	26
●子ども参加者の声	36
●フォーラムに参加しての感想	39
●賛同人・賛同団体ありがとうございました	43



☆☆ポスターができるまで☆☆

このポスターつくるのにね、子どもたちだけでね、何日も時間掛けたんだよ。
たとえばね、くちびるの周りの文字の色、これはひげに見立てているんだ。
でね、何色にするかでひげの色を決めるだけで、1日掛かったんだあ～話し
合いがね。どう話し合ったかって、黒と緑って意見が合ってね、まず多数決
して、別れて、黒が良い人は黒の良さを、緑が良い人は緑をアピール、いい
と思うほうのアピールを聞いたたびに動きながら、黒が優勢だったり、緑が優
勢だったり、で、どちらかにみんながそうだねって思えるまで話したんだよ。
最後おかしくて笑っちゃったんだ。



子どもの権利条約フォーラム 2004 いばらき in 取手

プログラム

11月20日(土) 1日目

♥受け付け 12:00～ はじまり 13:00～

♥オープニング

それぞれの集合場所でオープニングメッセージ

実行委員長 取手市長 塚本光男さん

実行委員長 早稲田大学教授喜多明人さん

パート1 13:00～14:50

♥おとな全員集合!

子どもの参加の支援

「子どもの権利条約をふまえて」

コーディネーター実行委員会おとなたち

♥子ども全員集合!

「徹子の部屋」

底ど

コーディネーター

的も

実行委員会子どもたち

パート2 15:00～17:00

♥おもしろいよ全員集合!

テーマ ～いつも考えないこと いま考えていいかも～

「世界の中心で子どもの権利条約をさげふ」

子ども+おとなのグループになってみーんなで

「子どもの権利条約」を話そう! 交流と対話だよ

♥おなかペコペコだよね交流会 17:30～20:00

(子ども無料・おとな1500円 当日申し込み)

子どもと子ども 子どもとおとな食べながらの交流もいカモ

♥からだで表現しちゃえ☆子どもの権利条約

「みんなの軌跡」

【事務局】Eメール miranetto2000@yahoo.co.jp

♥開催地事務局:NPO 法人未来の子どもネットワーク

〒301-0841 龍ヶ崎市白羽4-1-2

TEL 0297-63-0367

FAX 0297-63-0722

(現在閉鎖中)

子どもの権利条約フォーラム2004ホームページです。

http://www.geocities.jp/toride_kodomo/

♥東京事務局:子どもの権利条約ネットワーク(天野)

〒106-0032 東京都港区六本木4-7-14 みなとNPO ハウス 4F

tel/fax 03-3746-0744 (事務局は火・金の午後1時～5時)

11月21日(日) 2日目

受け付け 9:30～

分かれていいとも! はじまり10:00～ おしまい14:30

♥おとなりテラシーしゃべり場喫茶

おとなの不思議な思考をみんな話しながら読み解こう喫茶です。おとなの方は、自分を読み解く機会になるかも?実際に飲食販売もしているよ。休憩だけでも来てね♪

♥子ども(で が) つくる教育基本法

子どもに関わる法律なのに、子どもが知らないなんて変じゃない。だったら、いま教育を受けている子どもたちの声で、教育基本法を解りやすくつくってみたい?

♥子どもとつくる自治体施策

自分が暮らしている地域の中で、街づくりに子どもの声を反映するには、どんな方法があるんだろう?外国の事例をビデオで見たり、話し合ったりして自分の街について考えてみよう。

♥不登校から考える、子どもの休息の権利

おとなは休日のほかに用事がある時や疲れた時には、有休って手もある。学校に行っても時には休みたいときだってあるんだ。でも、なぜか子どもは休み辛い。なぜなんだ?そのなぜを休んだことのある子どもたちと一緒に話したり考えたり

♥劣化ウラン弾からみる子どもの権利条約

劣化ウラン弾って知っている?聞いたことある?世界の子どもたちが今、劣化ウラン弾で苦しんでいる。その様子をパネルやビデオをみて、解りやすく科学者に話してもらい、考えよう。

♥子どもの権利条約を通して学ぶ

午前:子どもの権利条約について学ぶワークショップ

午後:子どもの権利条約や子どもの参画/参加のために各地で活躍されている

ファシリテーターがそれぞれの経験や実践を交流し、課題やこれからのありかたを深める。

♥あそびにおいて

はじめてであった子どもたちが、テレビやゲームでは味わえない仲間とともに頭も心も身体も使っておもいっきり遊び合う。

GAP 子どもが暴力から自分を守るための教育プログラム

午前:おとなのためのワークショップ 参加する子どもの保護者の方は

午後:①小学1～2年生(6～7才) 午前中おとなのワークショップへ

②小学3～6年生(8～12才) の参加をお願いします。

♥性教育ワークショップ(心の健康教育プログラム)

午前:10～12才対象 午後:13～18才対象

自分の体を大切にするために、必要なスキルと知識を手渡すワークショップです。一緒に聞きたいおとなもどうぞ。

♥いじめは心と身体への暴力皆みんな違っていて本当にもう思っている?

午前:「優しい心が一番大切だよ」いじめや暴力によって命を失ってしまった子どもの遺族が、みんなの命が大切なことを話します。

午後:おとなと子どもに別れて、子どもたちは座談会。おとなは「あなたは子どもの命を守れますか?」話し合い。

いじめや暴力で命を失った子どもたちの写真や遺書等のパネル展示をします

♥「はじめてのおしほい」を考える講演会 午後のみ

信頼できる親と一緒にいることで安心して他者を認識できるのが2～3才児である。そこでテレビという媒体を通してではなく、この時期に生の舞台との出会いを説く。

♥親が変わる教師が変わる。これが出発点

アドラー心理学の育児プログラムをもとに、コミュニケーション教育と「罰のない育児」への提案。子どもとの関係を見つめ直す機会に。

♥市民がつくる子ども人権条例

子どもの権利条約の理念を基本とする人権条例素案や条約作りの取り組み方と交流。

♥子どもおとなもアートだけ! みんなでアートをみに行こう♪

子ども全員集合！徹底的子どもの部屋名づけて

「徹（底的）子（ども）の部屋」

「徹底的子どもの部屋」っていったいどんな部屋だと思う？

きて、みて、いっしょに考え、動いてみて、話してみようよ！

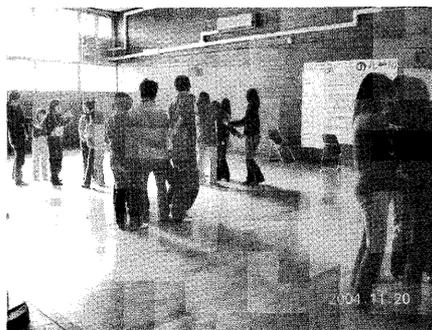
進行役：子ども実行委員会の僕たち私たち

子どもたちからのメッセージ

家の人へ

言いたいコト

- ・すぐにたたいたりおこったりしないで考えて口でいってくれればいーのにー！？
- ・理由（わけ）も知らないのにすぐおこる。
- ・ちゃんとおこる前に、考えてよー。（どうしておこるかとか、おこるべきかとか）
- ・おこる前に理由をちゃんと理かいしてからにしてよ！！
- ・なんでもこどもにあたる…(*`θ`*)
- ・必要いがいではおこらないでよー
- ・言葉の暴力はやめて下さい！
- ・必要なときだけにしてよ。”おこるのを”
- ・なんですすぐおこるのー！
- ・「ちゃんとやって！」っていうけど私なりに
「やってるんだあー」
- ・ブツブツ言うな！
- ・いちいちうちがすることにケチ？をつける親いやっつ！！



母へ

- ・おかーさんたまには休めー たまにはホンキで笑って
- ・お母さんが家にいなさすぎる。
- ・泣くことを逃げることだと決めつけしないで
- ・栄養バランス考えて飯つくってくれ。 母
- ・自分の子供のことをわかっていない人がいる
- ・おれはうさぎじゃないんだあー

- ・肉が食いたい
- ・私にへやをかたづけろというけど、お母さんだって、うちの片づけしてないじゃん！
- ・おかあさんのじゅぎょうさんかんのふくそうまちありえない(*`θ`*)
- ・おこりすぎ（母）
- ・人の話を最後まで聞け。（お母さん）

父へ

- ・おとうさんは好き？ 何でおとうさんはくさくてきたないの？
- ・今日「こっちにくるな」と言うのだけかな。(●`ε`●)
- ・おこるとすぐ言葉ぼうりよくをなぜいうの？
- ・「勉強しろ」「勉強しろ」ってうるさあーい。「勉強しろ！」って言う前に「今からなにをするの？」とかきけば子どももいい気持ち！
- ・お父さん！ おさけのんだあとに車、うんてんしないで！！
(あぶない、あぶない) …ってというか、おさけのみながらうんてんしないで。
- ・勉強しろというなら、子どもがぜんぜんやってないときに、言えばいいのに一。勉強しようとしてるときに、「勉強しなさい！なにやってるの！まったくも〜」ってゆうと勉強する気なくなるつうの〜(●`ε`●)
- ・少しは子どもの気持ち考えろ！！
- ・勉強×2うるさい！
- ・おこづかい増やせ！
- ・お父さん、勉強するなっておこるの変だよ。
- ・お父さんすぐおこらないで！
- ・父さんうざい
- ・ちゃんとうちらを見てくれてない！からかなあ〜？
- ・お父さん、子どもときのブロック大切にとっといてくれてありがとう。
お父さんは、なんですぐおこるの！はっきり言ってムカツク(●`ε`●)
- ・お父さん、部屋のこと、すぐにおこるな。ゴルフ行くな。
- ・お姉ちゃん 夜中に歴史の勉強しないで。
- ・お姉ちゃん、朝1人で起きろ
- ・そんなにおこるな。(おねえちゃん)
- ・おねえちゃんのめざましどけいうるさい。こっちのめざましどけいきこえないんだよ！
- ・お姉ちゃん、気にいらなからってすぐになぐるな。
- ・「お姉ちゃんなんだから！」って言わないでよ！



伝えたいコト 仲良くするために

- ・お母さんいつもごはん作ってくれてありがとう。
- ・お母さんおしごとしてくれてありがとう。
- ・人として生きる
- ・なんでも楽しむ
- ・肩の力を抜きましょう
- ・たまにはゆっくり考えることも必要。
- ・わがままばかりでごめんなさい。
- ・物事にしぼられず、受けとめる心をもつ
- ・私自身に余裕がないのかな～
- ・ときには、融通も必要でしょう
- ・ただ、そばにいる それだけでもいい。
- ・毎日ごはんつくってくれてありがとう
- ・休日に家にいなくて一緒にでかけられなくてごめんなさい
- ・子どもの行動を遠くからみて何かあったらたすけてほしいです。
- ・いっしょにかいに行く 服を
- ・父さん、母さん親孝行するよ
- ・大好き
- ・守るものは守る（両方共）
- ・愛
- ・普段は言えないけど、ありがとう。
- ・感謝を伝える
- ・いつもお世話になっております。今後ともヨロシク。
- ・サンキュー！
- ・手伝う
- ・お父さん いつもおこられながらおしごとしてくれてありがとう。
- ・いっしょにあそぼう
- ・家族と、かいものとかさんぼとかでかける。
- ・家族会議をする！
- ・コミュニケーション（どっか行く。カラオケ）
- ・やっぱり話しをするのが1番
- ・お父さん ipod 買ってくれてさんきゅう
- ・もっと家族で話し合おうよ
- ・みんなで何かを計画して実行にうつそう！
- ・お父さん石がすきでありがとう。



- ・いっしょに石ひろいにいって話し合う。
- ・一緒に酒を飲む！？
- ・人の話を最後まで聞いてくれ…
- ・お父さんも娘とイヤがらずに話そう
- ・仲良く！・どっか行って遊ぼうよ！・喋べる
- ・しゃべりあう〜
- ・みどりをふやせ！ そのとおり
- ・木をふやそう そのとおり
- ・しぜんをふやせ そのとおり



先生へのグチと解決法

先生に聞いてほしいコト

- ・すすめすすめは疲れるだけ たまにはゆっくり休みたい。
- ・なんで先生は、「まって」っていても、まってくれないの？
- ・気の弱い子には、優しく、強い子には、ペコペコして、ふつうの子にはなぜ、いばるの?? わけわからん〜(●ε●)
- ・先生は同じ人間をつくろうとして、生徒の意見を尊重しない。
- ・先生はやく帰ってきて。
- ・話を聞いて下さい。
- ・少しだまって。
- ・ちがう人がわるいことしてもすぐおこさないのー ”先生へ”
- ・友達があかんコトしてるトキにそれを注意できるのがホンマの友達やって先生は言うけど、不良系の生徒をこわがって注意しない先生はホンマの先生じゃないんちゃうん? って思う。
- ・「静かにしろ」とかいうけど、原因はあなたです。
- ・先生は点数で人間を判断しすぎ。
- ・学校の先生は点数が悪いと勉強してないと決めつける。
- ・先生下ネタ言うな！
- ・見下して話をしない。
- ・話を聞いてほしい！
- ・人は人、自分は自分 認めてくれ。 (先生)

言いたい

- ・少しでもミスをすると、キレル…。 何なんだ？
- ・塾の先生へ 教科書1回忘れたくらいで「なにしにきてんだよ？」っておこる

ことないじゃん。人はだれだって忘れることはあるのに。

- ・部活の教師が暴言をはく 体罰もある
- ・すこし集合がおくれたくらいで校庭10周とかさせないで！（体育の先生）
- ・「教育を受ける権利」というけれど、学校の先生がきびしくていやだったりしたら学校は行けなくなる。たとえば、中学校のトキの体育のセンセイは、少し集合がおくれただけで、校庭10周とかさせさせた。

いわせて

- ・人のことを「くそやろう」と言う先生キライ！！
- ・T先生 くさってる！
- ・差別する先生。 ホンマうざい
- ・生徒（こども）のプライバシーを守って。
- ・生徒といっても1人の人です！！
- ・先生、自分の言うコトが正解だと思わないで
- ・生徒を上から見ないっ！！
平等に見て欲しい！
- ・ひいきするな！
- ・差別はイヤだ！！
- ・見た目だけで判断しないで
- ・学校の先生が差別をする(●`ε´●) × 2
- ・先生はうちに”差別”のことおしえたり注意するのに自分も生徒を差別スル
(できる子とできない子)
- ・学校の先公は、人を差別しすぎ ××××



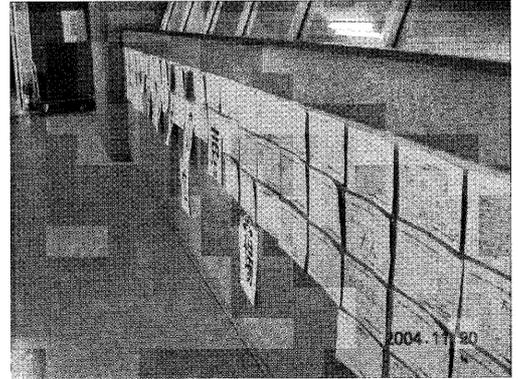
校則について

- ・学校の生徒手帳は、なぜ義務だけ書かれているのか。
- ・髪染めてもいいじゃん。
- ・規則を守れ！（信号むし）
- ・一回子どもにいろいろやらせてみて
- ・染めるな言うというて、白髪染めしとるせんせい
- ・人をスキ・キライに分ける先生いや うざい！！
- ・自分達だって染めたりしてるんだからいいじゃん
- ・話し合う
- ・生徒が髪染めると怒られるのに、大人が染めると怒られない。
- ・学校はくだらない校則で子どもをしばっている

- ・子供たちのことをいろいろとゴカイしてると思う。
- ・生徒だってそめてみたい
- ・先生も注意するならそめるな！！です。

授業についていいたいコト

- ・話し方を工夫してほしい。
- ・テストばかりやって何になるのか？
- ・テストの問題優しく
- ・先生もっと宿題だして。
- ・言葉を大切に
- ・プリントばかりの授業はつまらない！
- ・先生がテストのときにいみ分からないことを書いている。
- ・いろいろな障害があっても、教育を自由に受けられるとよい。
- ・先生、宿題出しすぎだ！ ついでにおこりすぎ
- ・「わからない」と言えるふんいきを作ってください。
- ・ちゃんと説明して
- ・こくばんかかないで、しゃべってばかりいるな
- ・日によって（気分によって）授業の時の口調が変わる先生。うざい
- ・意味がわかるように授業して。
- ・なんで、べんきょうのとき、ちがうことをはなすの？
- ・先生の口調おかしいっ！！
- ・F先生はいつでも授業の1/3が自分の話(●ε●) 授業して〜
- ・英語の発音がめっちゃ変な先生。先生えいごへた。授業がよく分からない先生。
→授業のトキ、外国人の先生でずっとやってもらう。



その他

- ・子どもが安心して学べる場がほしい。
- ・「子どもの権利条約」について、学校ではどのようなことを伝えられているのでしょうか。
- ・(教育)「自立」につながる教育になっているのは？「エリート」だけあつめ教育を行う恐さ（若いときはいいが、老後は？）
- ・学校以外でも学べることを知ってほしい。
- ・障害のある子が普通学級に入りにくい。
- ・私の主じ医。あんたに私の進路のコトなんかかんけないじゃん！
- ・リラックスしてのびのびと、人の話をきいてくれる楽しい学校になってほしい。

グチ&解決法

- ・名字にケチつけるせんせい。 まぢやだ → ひらがなで名前書く
- ・理由つけてケータイパクするな(●ε●)→ ケータイダミーをもっとく。
- ・生徒にセクハラするなあ！先生 → 自分のつまでやれ
- ・ムリになまろうとする先生 → 本物のナマリを教える。
- ・機嫌がわるいと、声のトーンが変わる。→んぢやもう最初から声のトーンを下げとけ。
- ・学校でいじめはありますか。→先生の前でわざと言って、ヤバイと思わせる。
→いじめがなくなるという固定観念を捨てる！



おとなたちへ 聞く耳

- ・子どもは「考えられない」とか「意見ないでしょ」ってなんで思うの？
- ・大人は「しゅくだいやりなさい」とゆってばかり。いやになる。(ちゃんとしてるのに)
- ・大人は、なぜ？学力のコトしか、考えないの？
- ・大人は、はっきりいって子どもの気持ち丸ムシ！もっとちゃんと考えろ！
- ・なんで、いやなことをするとぼう力だしちゃうの？(●ε●)×2
- ・もし自分が、子どもでおこられたらどう？ もし子どもが悪いことをしていないのにおこっちゃったらどう？ 自分がゆうかいされてこころされたらどう？
やだったら、やめてよー。
- ・確かに子どもを大人はしつける事が必要だけど、だからといって生命を左右する権限があるわけではない。
- ・なんでゆうかいとかするのー
- ・犯罪をしてどこがたのしんだあ〜？
- ・どんな理由があっても人を殺しちゃダメ
- ・大人も子供も大人、子供いぜんに1人の人間だから1人の人間としてみて！！
- ・うちらがコンビニにあつまって話をした時変な目でうちらをみた大人！！
- ・大人は調子が良すぎる。子供達の意見もちゃんと聞いて欲しい。
- ・その人の中身をきちんとみてあげる
- ・もし自分がドロボーされていたとして、大事なものをぬすまれて…、

はんにんをうらみますか？ けど、それをあなたがやってるんです。

- ・大人は「勉強」というものをどう思っているんだろう。
- ・ドロボーしてもつかまるんだったら、やらない方がいいのに…。
- ・”差別”っていけないって子どもに教えてるなら実行してみる
- ・ぎゃくたいは見つからないまま、子供が死んでしまうケースが多いのは、なぜ？
早く発見できないの？
- ・子どもの意見を聞かない
- ・子供の話をちゃんと聞きましょう。
- ・人の話をもっと聞いてほしい
- ・なんで、大人は、人をころしたりするの
- ・世の中はすべてがお金じゃない。
- ・自分の意見をおしつけないでほしい
- ・なんで大人は口に出せないことを声に出すの～？
- ・考え方のちがいをみとめて
- ・子供ぎゃくたい反対
- ・なんで人をおそったりするの？（大人）
- ・どろぼうとかする前に、自分がやられてどうかって考えてよー。
- ・もしゆうかいをしようとしてしっばいしたらどうするの
- ・子供の考え方についてよく考える
- ・子どもに言う前に実行して
- ・「子供のくせに」などと先生達に言われたくない
- ・なんで子ども（人）を殺すの？
- ・子供の話しを聞く時間をつくる。
- ・ぎゃくたいの心のきずは一生消えない事を知ってほしい。
- ・なんでおさないこどもにぼう力をふるうの？
- ・ゆうかいやさつがいをしない人になってくれるとこかな
- ・歩行者優先 ほこうしゃゆうせん
- ・1年間位お試し期間で変えてみる
- ・しつけは子どもにするのではなく、どちらかというと大人自身が試されてるんじゃない？ そういう風に疑問を抱いていければなあ…
- ・大人も正しいちしきをつけてほしい
- ・大人だからっていばるな
- ・もうちょっと話しきいてくれ～～><
- ・もし自分がどろぼうされたらどう？
- ・もーおとなはずぐたたくー！（●`ε`●）



- ・子どもの地位を上げろ
- ・歩きタバコは火傷の危険性があるからやめた方がいいと思う
- ・全地球で歩きタバコを禁止する
- ・テレビの中などで、バカとか死ねとかを簡単に使うと、小さい子が真似するから、やめた方がいいと思う
- ・「めりはり」×2といってるケド！！自分は、できてる？って聞きたい！！
- ・大人は、子どもをばかにしないでほし〜
- ・大人だけではなく、子どもも保護される体制になっていない。社会資源が不足している。
- ・タバコのすい方に関する授業してみない？
- ・タバコのポイ捨とかやめようね。
- ・大人は、自殺をすぐ考えるケド！！命を大切にしないの？
- ・大人は、よくばりすぎだと思います。
- ・理解する
- ・自分が子どもの立場だったら！ってゆうことをかんがえてみてよ！
- ・子どもに叱るのってムズカシ〜〜
- ・意地悪するの〜
- ・”みんな”のこと考えてみる
- ・”楽しく”暮らせる環境づくりする
- ・大子（大人？）は子どもの気持ちを、わかっていないなら、子どもに気持ちをきいてくればいいのにー！
- ・自分が子どものころこうゆわれていやだったな〜。って思っている人にあなたは、なっているんです
- ・なんで人は、ちょっとしたことでおこっちゃったりするの？
- ・大人と子どもという関係を考えたい。
- ・なんで、みんな「これがいい」と思ったらせめるの…
- ・大人、子供と言わずに、話をする。
- ・話聞かない大人ってイヤ。
- ・大人は、子どもの気持ちをもっとちゃんと、理かいして！！



大人も子どもも、仲良くしようよ！！

- ・子どもも、大人も助け合う生活がいい。
- ・大人のいい所は、自分で「これにしよう」と思ったら、すぐに行動できる所です。
- ・誰もが安心して食べたり、寝たり話せる場所が必要。

- ・ 大人は確かに子どもよりも長生きだ キ（イコールではない） 頭がいい
- ・ 大人も子どもも一歩引いて考えてみれば、同じ人間。それぞれいい所がある
- ・ みんな（大人と子ども）が、いっしょに、きょうりよくしてほしい。
- ・ おとなも子どもも、ぼう力をふるわない。
- ・ まあ、じゃあ、おたがいによくばりじゃなくなったらいいと思います。
- ・ あいさつをしたりふれ合いを多くする
- ・ おとなは子どものめんどろをちゃんとみってくれる所がいい。
- ・ 暴力ふるうのは育児につかれているからやろ？
- ・ やさしくすること…
- ・ 子どもは、みんなでいろいろできる、（きょう力）のが（みんな）すご…い。
- ・ いけんをききあう…
- ・ ストレスたまると寿命みじかくなるよ
- ・ 子供でもなくて大人でもなくて人として…
- ・ みんながきょう力すること…
- ・ みんなたのしくいきっていく
- ・ 大人といっぱいはなす。
- ・ わたしたち（ぼくたち）のためを思ってくれているからと思います。
- ・ （大人・子どもに関わらず）価値観の違う人間がいることを認識する。
- ・ たすけあうこと
- ・ おとなも、子どもも、否定しないで。受けとめあえればいいなあ〜
- ・ じゃあ、みんなできょう力すればいいと思います。
- ・ 友だち
- ・ 「人」を大切に。
- ・ だんだんと人になっていくと思ってるからかも。だから子どもは、まだ半人前みたいな…
- ・ こどもも大人もみんななかよしになること。
- ・ おとながつまづいたら子どもが助ける
- ・ 友じょう
- ・ じゃあ、例えば半分半分がいいと思います。
- ・ 人はだれもマチガイをするから「今度はきおつけてね」っていったほうがいいと思います。
- ・ おとなも子どももお互いを否定しすぎない
- ・ もっとおたがい話しができるといいなあ… （でも無りやり聞こうとはしないでー）

